

山行報告書

日時	2016年 7月17日(日)～19日(火)		天候	晴れ
山名	北アルプス奥穂高岳			
CL	大久保	参加者	坂本、前澤、前川、徳永、大庭(会員外)	
(コース)	<p>・17日(日) 博多駅6:32(新幹線+特急) - 松本(電車+バス) - 上高地2:30 - 徳澤園16:40</p> <p>・18日(月) 徳澤園5:00 - 横尾6:00 朝食6:30 - 涸沢小屋10:00 - 穂高山荘13:32 - 奥穂高14:50 - 穂高山荘15:20</p> <p>・19日(火) 穂高山荘5:30 - 涸沢小屋7:30 8:00 - 横尾10:18 - 徳澤園11:25 昼食11:50 - 明神池12:45 - 上高地13:50 14:32(バス+電車) - 松本(特急+新幹線)16:52 - 博多駅22:38</p>			
(コメント)	<p>梅雨明けが気になっていましたが、最高のお天気に恵まれてラッキーでした。私は涸沢泊りでしたが、皆さん穂高に一気に登りすごいなあって思いました。温暖化のせいかブヨや蚊が多く虫対策が必要だと思いました。上高地で散策の前川さんも、外人さんのお友達もでき、楽しそうでした。徳澤園もよかったし、往復の新幹線の中も楽しかったです。ご一緒した隼太さん、また機会があればご一緒しましょう。お世話いただいた大久保さん、ありがとうございました。(坂本)</p> <p>最終的にギリギリになって参加を決め、前日にリュックにパッキングをする。そういう私は今回 徳澤園に一泊までと 帰りに上高地で他のメンバーと合流しただけの山行でした。これは山行でなく観光でした。一日目上高地降り立った時、そこは見上げるとアルプスの山々に抱かれた五千尺の地でハイカーと観光客で賑わう場所だった。二日目の早朝5人のメンバーを見送った後、明神岳を背後に配した明神池の入り口の神社の社で拝み、梓川の右岸を上高地に向けて散策する。途中広い河原におりて、梓川に足をつけてみると、1分とつけていられないくらいの冷たさで、暑さを忘れさせてくれるほどだった。予約していた山宿、2時半からチェックインできるらしい。チェックインしてからは出かけなかった。韓国の登山客の団体が入っているらしい。私の部屋も後一人とシェアしてくださいとのこと。てっきり韓国登山客のおばさんが同室と思っていたら、なんと若い可愛いドイツ人のバックパッカーだった。夕食、朝食を共にし、彼女は軽装でトレッキングに出かけた。私も、チェックアウトが9時なので、リュックを宿に預けて大正池を目指して散策する。観光客は大正池バス停で降り、池に着いたところで、池</p>			

の向こうにそびえる焼岳の威容に歓声をあげていた。大正池から上高地バスセンターに行く木道は工事中で歩けないので私は、バスで帝国ホテルまで行き、帝国ホテルでトイレを拝借し、そこからは上高地バスセンターは歩いて8分。メンバーが無事に奥穂高登頂でき良かった。私も諦めずトレーニングを積んで次回行けたらいいなと思っています。リーダー他皆さん 参加させてもらってありがとうございました。（前川）

憧れの穂高連峰・奥穂高岳の山行です。天気も梅雨明けしていなく不安定でしたので雨の時は上高地観光でもいいとか等、いろいろ考えて参加でした。上高地に着いた日は河童橋から山の姿が全く見えませんでした。しかし二日目からは登山日和で快晴でした。涸沢小屋までは緩やかな登りですが、ザイテングラートを登り穂高山荘、そこからハシゴを登り奥穂高頂上へ。ハシゴを登れば直ぐ頂上と思っていたらまだまだ岩場を登らなくてはいけません。登り着いた頂上ではジャンダルムが綺麗に見れ圧倒されました。残念ながらガスがかかって来て槍ヶ岳や富士山は見れませんでした。穂高山荘までの間、初めて登った北アルプス常念岳や蝶ヶ岳の稜線、前穂高岳、雪渓の残った涸沢カール、またハクサンイチゲやシナノキンバイのお花畑が見れ素晴らしい景観でした。緩やかな登りとザイテングラート岩尾根の石屑の道で奥穂高山頂までストックを使わず登った事が意外でした。女性5人と若い男性1人の旅とても楽しい旅でした。ただ一人足の不調で山と一緒に登れなかったのが残念でした。リーダー有難うございました。そして隼太君ありがとう。（前澤）

私はと言えば体調万全ではないまま登っている事が多い中、登りだすとテンション上がって結局はいつも登ってしまい下山後高熱出したとか。。。でも、今回は体調万全で臨む事が出来てホットしてました。が、歓びも束の間。明神池辺りで虫刺されに合い翌日は登るに連れ段々と腫れ出して、ホッペは膨れ片目は潰れてしまっている。鏡見て！(◎_◎;)涸沢小屋でステロイド入りのお薬借りた時、スタッフの方にこれ以上登らない方が良いのでは？と言われとても迷ったのですが、私って結局何時も問題抱えながら登ってる。今回だって大丈夫！！初めての奥穂！！初めての3000メートル超え！！虫刺されなんかに負けられません。何時もの問題は結局、思い過ごしということにして、、、デモ、ビビリなので穂高山荘の向こうの梯子登って奥穂へ、はたして登頂できるか？ ザイテングラートでの途中の高度感に

慣れたようで梯子見た瞬間に登る！！怖く無い！！が、ケルンの上で見た山頂から繋がるジャンダルムは、黒くてギザギザ。人間なんてくるな！とでも言ってるみたい。新たな恐怖を覚えさせられた瞬間でした。何年後か、どうか私はあそこへ行くななんて馬鹿な考え絶対起こしませんように。アーメン！

(徳永)



費用概算

(交通費/人) 約45000円(新幹線、特急、バス、電車代)

(その他/人) 小屋代(徳澤園10000円、穂高山荘9800円、湊沢小屋9500円)

(2016.01.27改訂)